

ACA 第12回伝統セミナー

下記の要領でACA第12回伝統セミナーが開催されます。このセミナーではACAのメンバーたちが、グループの中でそして自分の生活の中で、12の伝統をどのように適用してきたかが分かち合われます。仲間たちの経験があなたにとって、スピリチュアルなプログラムとしてのACAグループを地域で開き続けていき、そして自らのステップを深めていくためのヒントとなれば幸いです。

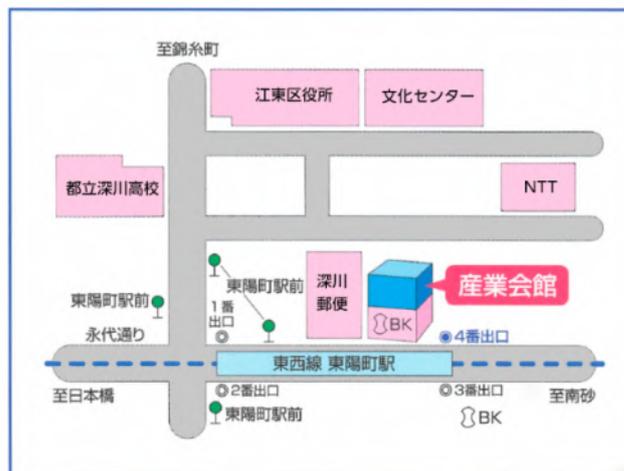
日時：2023年9月3日(日) 13時から

*10時からプレミーティングも開きます。

会場：江東区産業会館 第4・第5展示室(東京都江東区東陽4-5-18) 東西線「東陽町」下車徒歩1分

(*)ご自分にACの問題がある(かもしれない)と感じられている方だけが参加できる、クローズドのミーティングです。

プログラム(予定)：(10:00 プレミーティング) 13:00～14:30 仲間の分かち合い(伝統1～6) 14:30-15:00 休憩 15:00-16:00 仲間の分かち合い(伝統7～12) 16:15-16:45 参加者全員の分かち合い



わたしたちにとって12の伝統とは

わたしたちの多くにとってACAミーティングは、やっと見つけた避難所でした。孤立を抜け出し「語るな、聞くな、感じるな」というルールを破ることは、挑戦であり、解放でした。やがて12のステップがわたしたちを導いてくれ、ミーティングの時間が一週間の生活の中で一番大事なものの一つになってきました。そしてグループに関わるようになるにつれて12の伝統の大切さに気付くようになりました。

12の伝統は第一には、その中で人が癒されるグループが存続していくための、ガイドラインです。AAの共同創設者ビル・Wは次のように述べています。「12のステップがメンバーひとり一人のソブライエティー(酔っていないこと)と心の平和に役立っているように、12の伝統はグループが生き残るために必要なものである。グループがなければほとんどのメンバーは回復できない」。

一方で、12の伝統に示唆されている原理は、ステップと同じく生活のあらゆる面で役に立つということを、わたしたちは発見しました。ビルは同時に書いています、「伝統は、すぐれた運営と生き方の道しるべだ」。疎遠であり敵対的であるかと感じられていた世界に、再び回帰しようと思ったわたしたちにとって、12の伝統にも自分の生活を処する新しいやり方の重要なヒントがありました。

One Day at A Time

らくだは一日に二度ひぎまずく。

朝ひぎまずいて今日の荷をになう。

身を低くすると少し楽にできる。

頭をまっすぐ上げて歩く。

もし日ざしがきつなくても

背中にはたくわえの水がある。

夕方ひぎまずいて今日一日の荷を降ろす。

